

## 「第20回 ゆきかう那賀川推進会議」を開催

令和7年3月14日（金）に、阿南市役所 2階会議室で、「第20回 ゆきかう那賀川推進会議」（以下、推進会議）を開催しました。今回の推進会議には、委員11名とオブザーバー1名の計12名が出席しました。



今回の推進会議では、まず令和6年度の取組状況について各機関から報告を行いました。

その後、令和7年度取組と今後の取組案について、意見交換を行いました。

令和7年度の取組について主なところは以下です。

□バスツアーは2回開催。那賀川下流域の小学生と上流域の小学生が交流を図るような取組として、1回目は平井委員に協力をいただき、「ファガスの森」で開催、2回目は橋本委員と連携し、木育（もくいく）について何か出来ればと考えている。

□写真展は、今までのように森林や山の重要性をPRするとともに那賀川流域の魅力をも発信することも必要と考え、展示写真は平井委員の写真とともに那賀川流域の写真を撮影している方の写真も展示することを考える。

□サイクリングコースは那賀川下流から上流まででコースを設定し、観光地や名所スポットなどをまわるコースを考え、マップとしても使えるようにする。中西委員などサイクリストの意見を参考にしながら、コースを設定する。

□下流域の小学生が那賀川上流域に興味を持ち、上流域へ足を運んでもらえるように、那賀川上流域の重要性を分かりやすく伝えられる「チラシ」を作り、小学生にPRするようにする。

これに対して委員からは、

○バスツアーでは自然を子供に教えることは大切。下流と上流の子供が一緒に来てほしい。

○那賀川センチュリーランの時、長安ロダムの展望台もコースに組み込みたい。などがありました。



今後の取組案については、以下のとおり。

□那賀川流域全体でどういったイベントなど実施しているかの情報を発信し、多くの方に知ってもらうことが重要で、「那賀川流域で各機関が行っている活動・イベント」を収集し、それを発信することで、那賀川流域に人が来てもらえる可能性が高まると考えられます。

□その情報発信をみなみ阿波の観光を PR している「みなみ阿波観光局」の HP から発信してもらう。また、みなみ阿波観光局のイベント連携にも取り入れてもらえれば、地域の活性化にも繋がるものとする。

これに対して委員からは、

○県南観光の情報発信はぜひお願いしたい。みなみ阿波観光局の事務局とどうやって発信していくか、効果的な方法、どのようにまとめるかなどを検討し、前向きに進めてもらいたい。

○こういう取組を行うには、「人のネットワーク」が重要。資金の都合も考えると「知識のネットワーク」も必要。

○SNS を利用すれば、ネットワークを広げることが出来る。

○那賀川上流域を自転車で走るには、食事ができる所をマップに掲示・案内することで、足を伸ばすことが出来ると思う。

○山や森に入っているいろいろな交流を図りたいと思う。

○10月18日開催のマウンテンマラソン（トレイルラン・24時間耐久）は、10年くらい続けているので、これからも参加者を増やし、続けたいと思う。

○上流域の水源涵養機能を守ることは重要。ダムハード整備は要望している。山の保水力、ダム湖への土砂堆積などから山を守ることは重要との考えを進めていきたい。利水企業が上流域へ還元できる仕組みや何げなく「使われている水」の理解を深めることも必要。

○みなみ阿波からの発信として、インスタ映えするような目を引く美しい写真を、下流からは「桜まつり特集」、上流からは「秋の紅葉」などイベントごとにまとめて発信していくような工夫が重要。

○林業振興は那賀町としても検討していく。イベント等には、いろいろな制度の利用や森林環境贈与税もある。

○那賀町のイベントには協力願いたい。町制 20 周年の取組として、昔と今の那賀町の姿をアーカイブとして、HP にあげて残したいと考えている。

○徳島県南部総合県民局では、みなみ阿波観光局と連携して取組を行っており、情報発信については、YouTube チャンネル「みぎあげ TV」や SNS を使って情報を発信しているところ。引く続き、みなみ阿波観光局と連携しながら県南の魅力を広報して参りたい。

○ダム上流域の小学生を対象とするNANAなかキッズ交流事業は実施対象の拡大を検討している。

○ダムフォトコンテストで川口ダムは「川口ダムとオリオン座」が最優秀となった。星が綺麗ということで観光コンテンツとして、長安ロダムではライトアップとセットにPRしてもいいのではないか。

○キーワードは連携・ネットワーク。個々のイベントを繋いで、うまく情報発信し、相乗効果をでるようにする。流域だけでなく、例えば那賀町の森を世界に向けてするようなことを考えれば、わくわくするようなことになっていくと思う。などがありました。



これらの意見を踏まえ、ゆきかう那賀川推進会議では、上下流交流を進め、那賀川上下流域の活性化につとめていきたいと思えます。